

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【公開番号】特開2014-2760(P2014-2760A)

【公開日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-001

【出願番号】特願2013-155910(P2013-155910)

【国際特許分類】

G 06 F 9/445 (2006.01)

【F I】

G 06 F 9/06 6 5 0 C

G 06 F 9/06 6 4 0 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年9月3日(2014.9.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

図5は本発明の模範的実施例において、アプリケーション期限切れのトリガー・イベントと関連する処理および期限切れの起動のもとでURLを処理することを表すフローチャートである。方法は期限満了などのアプリケーションと関連するトリガー・イベントが起こったという命令を受ける(ステップ800)。満了を処理する前に、またアプリケーションと関連するURLなどのエクストラ・データは、待ち行列に置かれる(ステップ805)。エクストラ・データが遠隔タスクにかかるかもしれない、それを待ち行列に置く1つの利点は、エクストラ・データが、遠隔システムに命令またはデータを送るようなタスクを実行するためにネットワークに接続を必要とするなら、エクストラ・データを処理している無線装置がカバー範囲をもたない(即ち、ネットワークに接続されない)場合、エクストラ・データの処理は、損失にならないであろうということにある。したがって、無線装置がカバー範囲を持つとき、それは待ち行列からエクストラ・データを検索して、エクストラ・データを処理することができる。